

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 カッシーナ・イクスシー

コード番号 2777 URL <http://cassina-ixc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 森 康洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理部長

(氏名) 小林 要介

TEL 03-6439-1360

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	2,503	—	27	—	34	—	27	—
23年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	71.42	—
23年12月期第2四半期	—	—

(注) 平成23年12月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,347	—	2,555	—	—	58.8
23年12月期	4,366	—	2,566	—	—	58.8

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 2,555百万円 23年12月期 2,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	100.00	100.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	3.6	250	25.1	210	△11.5	150	△71.1	395.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期2Q	409,110 株	23年12月期	409,110 株
-----------	-----------	---------	-----------

② 期末自己株式数

24年12月期2Q	29,677 株	23年12月期	29,677 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	379,433 株	23年12月期2Q	388,120 株
-----------	-----------	-----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・連結子会社でありました株式会社CIXMを平成23年7月1日に吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、前第3四半期累計期間から非連結の開示となっております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) キャッシュ・フローの状況の分析	3
(4) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、東日本大震災の復興需要に伴うサプライチェーンの再構築によって企業活動が回復するなど、経済指標の一部には明るい兆しがみられるようになりました。一方で、今夏の電力供給能力不安や企業が予想していた水準を超える円高の定着により輸出産業の競争力が低下し、また欧州各国の財政懸念を端緒とした金融不安により世界的に信用収縮の動きが継続するなど、先行きは不透明なまま推移しました。

当社が属する家具インテリア業界におきましても、少しずつ需要に動きがでてきたものの、依然として法人の収益状況、個人の雇用情勢、所得環境が一進一退を続けていることや業界内の価格競争が激化していることなどにより、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のもと当社は、企業理念である「洗練された、夢のある生活空間へ」を実現するため、「人」「商品」「サービス」すべての面で見直しを行い、生産性及び収益力の向上を目指して取り組んでまいりました。しかしながら、法人営業部門や直営店舗において物件あたりの規模が小さかったことなどにより、売上高は前年同期の金額を下回る結果となりました。一方、円高ユーロ安による輸入商品の原価低減、カッシーナブランドの販売比率の上昇や自社工場の稼働率が向上したことなどが寄与し、粗利率が改善いたしました。販売費及び一般管理費については、5月から6月にかけて直営各店舗において新作展示会をおこなったことにより販売促進費、オリジナルブランドの新商品開発を重点的に実施したことなどから試作研究費が増加しております。また、青山本店、大阪店の部分改装を行い、発信力、提案力の強化を図りました。以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,503百万円、営業利益27百万円、経常利益34百万円、四半期純利益27百万円となりました。なお、連結子会社でありました株式会社C I X Mを平成23年7月1日付で吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間は非連結での開示となっております。このため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて251百万円減少し、2,898百万円となりました。主な変動要因は、現預金が292百万円減少した一方で、商品及び製品が38百万円、未収入金が40百万円、それぞれ増加したことによるものです。固定資産は、前事業年度末に比べて231百万円増加し、1,448百万円となりました。主な変動要因は、差入保証金が165百万円、関係会社株式が70百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて19百万円減少し、4,347百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて20百万円増加し、1,289百万円となりました。主な変動要因は、短期借入金が290百万円、賞与引当金が55百万円、それぞれ増加した一方で、1年内償還予定の社債が200百万円減少したことによるものです。固定負債は、前事業年度末に比べて28百万円減少し、501百万円となりました。

この結果、負債は前事業年度末に比べて8百万円減少し、1,791百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて10百万円減少し、2,555百万円となりました。主な変動要因は、四半期純利益を27百万円計上した一方で、配当金の支払により37百万円減少したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ292百万円減少し、994百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、34百万円の減少となりました。主な要因は、税引前四半期純利益30百万円、売上債権の減少94百万円により増加した一方、仕入債務の減少75百万円、未払債務の減少92百万円により減少したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、283百万円の減少となりました。主な要因は、差入保証金の差入210百万円、関係会社株式の取得70百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、23百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加により290百万円増加した一方、社債の償還により200百万円、長期借入金の約定返済により28百万円、配当金の支払により37百万円、それぞれ減少したことによるものです。

なお、連結子会社でありました株式会社C I X Mを平成23年7月1日付で吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間は非連結での開示となっております。このため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(4) 業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想につきましては、平成24年8月1日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,297,563	1,004,840
受取手形及び売掛金	679,142	618,835
商品及び製品	963,503	1,002,029
仕掛品	10,546	8,751
原材料及び貯蔵品	119,584	140,598
その他	80,062	124,541
貸倒引当金	△1,200	△1,400
流動資産合計	3,149,202	2,898,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	457,635	472,052
その他	323,442	326,569
有形固定資産合計	781,077	798,621
無形固定資産		
	61,658	45,992
投資その他の資産		
差入保証金	347,943	513,647
その他	32,321	96,468
貸倒引当金	△5,860	△5,860
投資その他の資産合計	374,405	604,255
固定資産合計	1,217,141	1,448,869
資産合計	4,366,343	4,347,065
負債の部		
流動負債		
買掛金	437,214	361,307
短期借入金	60,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	57,960	57,960
1年内償還予定の社債	200,000	—
未払法人税等	30,238	8,800
賞与引当金	—	55,052
資産除去債務	11,500	—
その他	472,779	456,740
流動負債合計	1,269,692	1,289,860
固定負債		
長期借入金	446,160	417,180
退職給付引当金	33,011	33,388
その他	50,661	50,661
固定負債合計	529,832	501,229
負債合計	1,799,525	1,791,089

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	400,294	400,294
資本剰余金	440,930	440,930
利益剰余金	1,835,099	1,824,256
自己株式	△109,505	△109,505
株主資本合計	2,566,818	2,555,975
純資産合計	2,566,818	2,555,975
負債純資産合計	4,366,343	4,347,065

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,503,543
売上原価	1,182,117
売上総利益	1,321,425
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	339,726
賞与引当金繰入額	46,495
退職給付費用	24,072
地代家賃	310,937
その他	572,327
販売費及び一般管理費合計	1,293,559
営業利益	27,866
営業外収益	
受取利息	68
為替差益	5,365
デリバティブ評価益	4,501
買掛金消却益	3,721
その他	1,441
営業外収益合計	15,098
営業外費用	
支払利息	6,547
その他	1,420
営業外費用合計	7,967
経常利益	34,997
特別損失	
本社移転費用	4,132
その他	278
特別損失合計	4,410
税引前四半期純利益	30,586
法人税、住民税及び事業税	3,486
四半期純利益	27,100

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	30,586
減価償却費	49,971
賞与引当金の増減額(△は減少)	55,052
受取利息及び受取配当金	△68
支払利息	6,547
売上債権の増減額(△は増加)	94,849
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,744
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,950
未払債務の増減額(△は減少)	△92,120
その他	△15,662
小計	△4,540
利息及び配当金の受取額	68
利息の支払額	△7,341
法人税等の支払額	△22,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,198
無形固定資産の取得による支出	△1,505
関係会社株式の取得による支出	△70,000
差入保証金の差入による支出	△210,365
その他	2,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	290,000
長期借入金の返済による支出	△28,980
社債の償還による支出	△200,000
配当金の支払額	△37,572
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△292,723
現金及び現金同等物の期首残高	1,287,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	994,840

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は家具インテリア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。